

# 張楓ゼミ (1723研究室)

経営学専門演習・地域課題解決研究

《専門》経営史・地域産業史

## 《活動目標》

・本ゼミでは、近現代日本やさまざまな地域の経済発展のダイナミズムを、経済史と経営史の研究視点に立脚して学習することを目的とする。

## 《活動内容》

### ＜3年次＞

・近現代日本経済史・経営史（産業史・企業史）のテキストのみならず、ゼミ生各自が関心を持つ経済史・経営史関連の文献を輪読しながら、「常識を疑え」をモットーに、時間をかけて活発な議論を重ねていく。

・それを通して、ゼミ生の読書力や、常識を覆す論理的な思考能力と調査能力の向上を目指す。

### ＜4年次＞

・3年次で見つけた課題や具体的関心を中心に、資料調査や企業訪問調査、卒業論文の作成を行う。

### ＜学外活動＞（3年次と4年次）

・企業見学、企業経営者インタビュー、大阪企業家ミュージアム訪問、他大学との合同ゼミ（立命館大学や甲南大学、広島大学など）

## 《成績評価》

ゼミでの報告と議論への貢献度、および卒業論文の内容を総合的に評価。

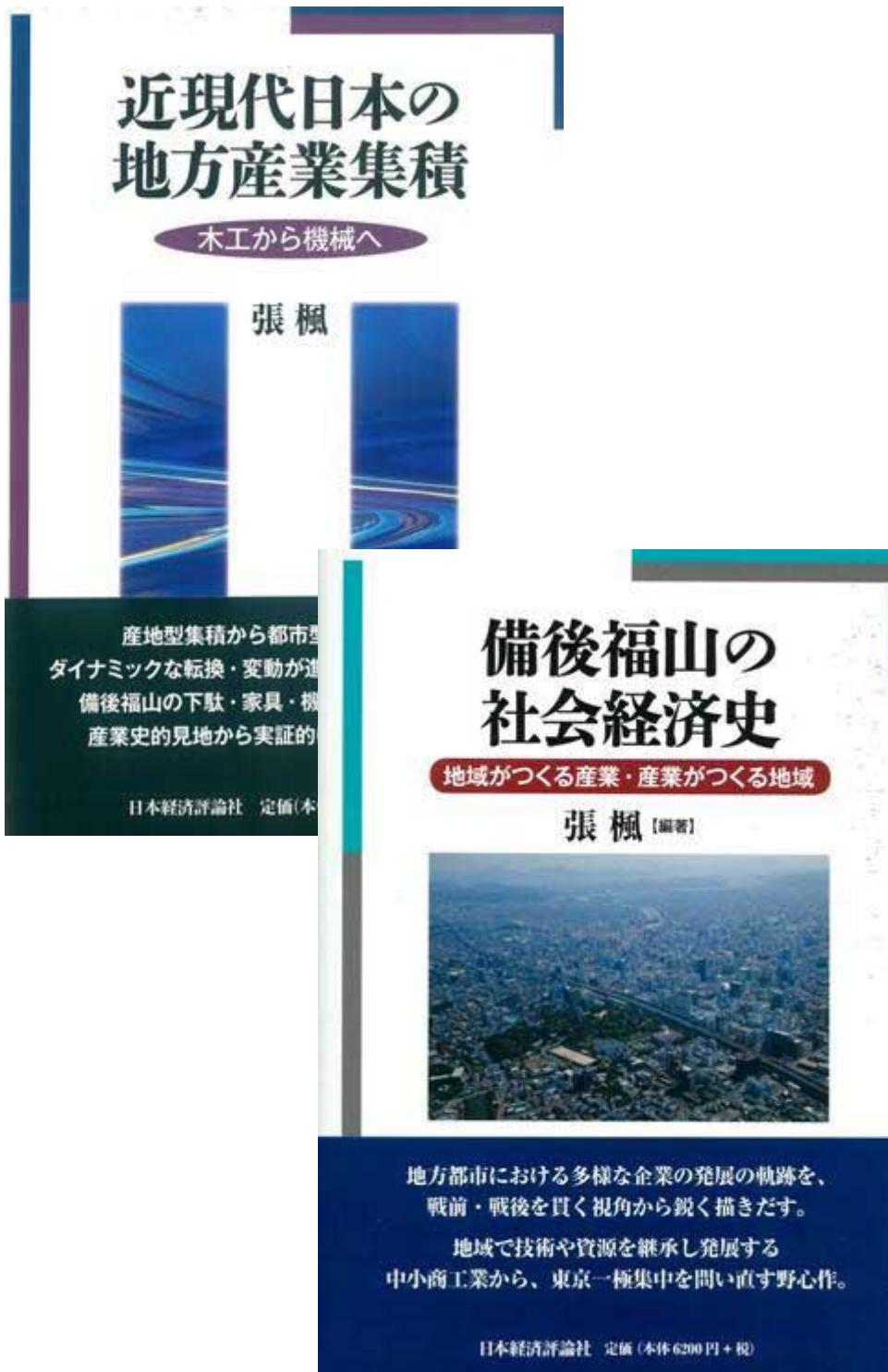
## 《キーワード》

経済発展、イノベーション、中小企業、大企業、産業集積、地域産業、地場産業

## 《E-mail》

※これまでの主な卒論テーマ：

栄養食品産業、清涼飲料産業、商店街、備後アパレル、中国コンビニ産業、Eコマース、医療産業、石油産業、食品産業、ホームセンター、ローカルスーパー、ゲームメーカーなど。



## 《教員から一言》

地域産業・企業の長期にわたる活発な事業展開（成功・蹉跌・模索）の歴史、また地域における多様な経営資源などに対する理解と共有をめぐる不断の対話は、地方創生・地方活性化の出発点と近道である。